

令和5年度 第1回山口県県民活動審議会の概要

1 開催日時・場所

令和5年8月8日（火） 10:00～11:30 山口県庁共用第2会議室

2 出席者

委員 岸田委員、角田委員、中川委員、速水委員、原田委員、弘田委員、松浦委員

県（事務局） 藤田環境生活部長、渡壁県民生活課長、
県民活動推進班 石塚班長、村中主任、山本主任、堀永主任主事、
栗山主事
やまぐち県民活動支援センター 伊藤センター長

3 概要

（1）審議内容

令和5年版県民活動白書(案)の概要(県民活動の現状と課題、県民活動関連施策、市町における取組)及び令和5年度県民活動促進関連事業の内容について、事務局から説明し、委員より意見をいただいた。

【主な意見】

- 若者の県民活動への参加促進については、スマートフォンの操作方法やSNSを使った情報発信など、若者が得意とする分野での参加を促すことが有効。
- 県民活動団体と多様な主体との協働について、団体内部に協働を進める人材がないということであれば、県による協働ファシリテーターの養成も重要。
- 白書(案)にある「市町における取組」について、市町民活動支援センターが各種の取組を実施しているにもかかわらず、掲載されていない市町があるので、その取組も加えていただきたい。

（2）意見交換

県民活動促進基本計画に掲げる3つの基本方針に基づく施策展開について、意見交換を行った。

【主な意見】

- 「山口きらら博記念公園での啓発イベント」については、県民活動の広がりや活発化が図られたことを確認することが重要。また、県民活動をより身近に感じてもらうため、市域での取組も進めていただきたい。
- 「若年層の参加促進」に向けて、高校や大学等で実施する活動説明会を各地域で展開し、地域貢献賞受賞団体の活動を説明会で紹介するなど、県民活動の取組を循環させていく仕掛けを検討してはどうか。
- 「プロボノ」では、情報発信・広報等に係る支援に加え、寄付金獲得に向けた体制づくり等、運営基盤の充実に繋がる支援も必要。